



G. ヴェルディ作曲 (原語上演・字幕付)
歌劇「椿姫」全3幕

2014年12月20日(土) 17:00開演 / 21日(日) 14:00開演
(開場は開演の30分前)
京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)

■ スタッフ		■ 出演		20 日	21 日
公演監督	松山郁雄	ヴィオレッタ	川越塔子	江口二美	
指揮	松下京介	アルフレード	清原邦仁	松本薫平	
演出	三浦安浩	ジェルモン	片桐直樹	黒田 博	
舞台美術	石井みつる	フローラ	白石優子	森井美貴	
照明	稲葉直人	ガストン	井出 司	橋本恵史	
衣裳	坂井田操	ドゥフォーール	西村明浩 (両日)		
舞台監督	近藤 元	ドビニー	木村孝夫 楠木 稔		
		アンニーナ	土岐真弓 林まどか		

	20 日	21 日
グランヴィル	松山いくお (両日)	
ジュゼッペ	総毛 創 (両日)	
使者	和田一人 (両日)	
召使	富田敦史 (両日)	
合唱：	ミラマーレ・ヴィルトゥオーゾコーラス	
演奏：	ミラマーレ室内アンサンブル	

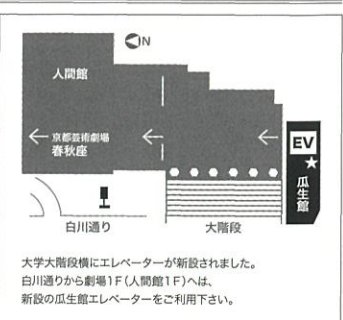
【料金】全席指定
【S席】一般=9,500円／シニア=9,000円／京都芸術劇場友の会=8,500円
【A席】一般=7,500円／シニア=7,000円／京都芸術劇場友の会=6,500円
学生&ユース席=3,000円 (座席範囲指定)
※ユースは25歳以下、シニアは60歳以上 ※シニア・学生・ユースは要証明書提示 ※当劇場2階席への移動は階段のみとなります。
※車椅子をご利用のお客様・足の不自由なお客様は、お電話にてお申込み・お問合せ下さい。Tel: 075-791-8240 (京都芸術劇場チケットセンター)

【チケット発売日】
友の会先行発売=2014年8月26日(火) 10:00より販売開始 ※8月18日(月)までのご入会でご購入可能です。
一般発売=2014年8月27日(水) 10:00より販売開始
【チケット取り扱い】 ※学生&ユース席は京都芸術劇場チケットセンター、劇場オンラインチケットストア、大学生協のみ取り扱い
□京都芸術劇場チケットセンター Tel: 075-791-8240 (平日10:00-17:00)
□劇場オンラインチケットストア ※要会員登録(無料)
パソコンから <http://www.k-pac.org> 携帯電話から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>
□チケットぴあ <http://t.pia.co.jp> Tel: 0570-02-9999 (Pコード: 239-013)
□イープラス <http://eplus.jp>
□京都新聞文化センター(京都新聞社1F) Tel: 075-256-0007 (窓口のみ10:00-17:00 ※土・日・祝除く)
□京都・滋賀各大学生協プレイガイド

【お問合せ】
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター Tel: 075-791-9207 Fax: 075-791-9438
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116



- JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車。
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
 - 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車。
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
 - 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分
- ※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はお断りします。



G. ヴェルディ作曲 歌劇「椿姫」全3幕 (原語上演・字幕付)

2014年12月20日(土) 17:00開演 / 21日(日) 14:00開演 (開場は開演の30分前)

京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)

料金 (全席指定)：【S席】一般=9,500円／シニア=9,000円／京都芸術劇場友の会=8,500円 【A席】一般=7,500円／シニア=7,000円／京都芸術劇場友の会=6,500円
【学生&ユース席】3,000円 (座席範囲指定) ※ユースは25歳以下、シニアは60歳以上 ※シニア・学生・ユースは要証明書提示

企画制作：NPO法人 ミラマーレ・オペラ／主催：京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター／プロデューサー：橋 市郎
協賛：株式会社 進々堂、京都ヴェルディ協会／後援：KBS京都、京都新聞、京都市教育委員会

チケット発売日 | 友の会先行=8月26日(火) 10:00 / 一般発売=8月27日(水) 10:00



G. ヴェルディ作曲 (原語上演・字幕付)

歌劇「椿姫」全3幕

椿姫は普遍的なロマンです

名作と呼ばれるオペラの中でも、ストーリーが明解で、曲が親しみやすいとなるとかなり限られてきます。モーツァルトのオペラなどは、曲は素晴らしいけれど、概してストーリーが複雑で一口には説明できない。その点、「椿姫」は両方をクリアしたオペラです。多くの人に愛されている理由はそこにあると思います。それに、ヒロインのヴィオレッタが余りにも可哀想なので、それぞれの観客がどんな美貌の持ち主かを連想したくなるのです。私は以前から、3幕のヴィオレッタはレオナルド・ダ・ヴィンチの素描に描かれたような女性に違いないと思っていました。時代も原作の書かれた350年前の人だし、国籍もフランスではなくイタリアです。でも病床で恋人をひたすら待つヴィオレッタの姿がダブって見えるのです。今回のチラシにこの絵を使ったのはそのためです。時代を超え、国籍を超えて「椿姫」には普遍的なロマンがあります。3幕への前奏曲を聴いて、ダ・ヴィンチの素描を思い浮かべてくれる人がいたらこの選択は間違っていないかったことになるのですが。

(舞台芸術研究センター 顧問プロデューサー 橋 市郎)

都会に咲いた一輪の花 ラ・トラヴィアータ

ヴィオレッタ・ヴァレリーは北フランスの不幸な家庭に生まれました。彼女の美しさにはどんな人をも引き付ける魅力がありました。しかし、そういう力は良く働くこともあれば、悪く働くこともあります。ヴィオレッタは多くの男たちに愛され、そして妬まれ、騙される人生を送ったのでした。彼女の人生の栄華の極み、それは彼女がドウミ・モンド(裏社交界)の花として君臨した数年でした。しかし、その短い時間は肺病という魔の手がヴィオレッタに忍び寄ったことで急速に陰り始めます。ヴィオレッタはしばらく静養することになりました。そして数か月後、ヴィオレッタを取り巻く男たちが待ちに待ったヴィオレッタの快気祝いのパーティーの夜。物語はそこから始まります。青年アルフレードとの出会い、別れ、そして…。

春秋座のオペラはおいしい!
涙の味がする!そして新鮮だ!

おかげさまで
毎年好評をいただき、
来場者が増えています!

春秋座でのオペラ上演(最近5年間)

2010年……團伊玖磨 作曲 歌劇『夕鶴』

2011年……G. プッチーニ 作曲 歌劇『ラ・ボエーム』

2012年……尾上和彦 作曲 歌劇『月の影』-源氏物語-

2013年……G. プッチーニ 作曲 歌劇『蝶々夫人』

2014年……G. ヴェルディ 作曲 歌劇『椿姫』

三浦安浩〈演出〉

鹿児島県出身。国立音楽大学声楽科卒業。メーランド大学大学院修了。新国立劇場小劇場「セルセ」で本格的デビュー、斬新な演出で一躍注目を集める。また、新日本フィルハーモニー「サロメ」「レオノーレ(日本初演)」「火刑台上のジャンヌ・ダルク」(三菱信託奨励賞受賞)「こうもり」、東京芸術劇場「カヴァレリア・ルスティカーナ」ではコンサート・ホールという制約の中、よりダイナミックなオペラ空間を創出し高い評価を得た。主な演出作品として、日生劇場開場50周年記念「フィデリオ」、新国立劇場オペラ研修所「カルディヤック(日本初演)」、「ナクソス島のアリアドネ」、新国立劇場子供のためのオペラ劇場「パルジファルとふしぎな聖杯」、びわ湖ホール「ラインの黄金」、北とびあ「月の世界」(故実相寺昭雄氏との共同演出)、大田区民オペラ「ノルマ」(三菱信託音楽賞受賞)、東京文化会館「ヘンゼルとグレーテル」、日生劇場「アリスの歌修行」、首都オペラ「フランチェスカ・ダ・リミニ(日本初演)」(三菱信託奨励賞受賞)、みなとみらい「てかがみ」など。新国立劇場オペラ劇場演出チーフを務めた後、現在、新国立劇場オペラ研修所講師。



松下京介〈指揮〉

オペラ指揮者。香川県さぬき市出身。昭和音楽大学、イタリア国立ミラノ・ヴェルディ音楽院、シエナ・キジアーナ音楽院で学ぶ。小澤征爾、広上淳一、チョン・ムンファン、アルベルト・ゼツダ等著名な指揮者の下、新国立劇場、藤原歌劇団、東京二期会、サイトウキネンフェスティバル等で研鑽を積む。05年バルトーク国際オペラ指揮コンクール(ルーマニア)第1位、07年ルイージ・マンチネリ国際オペラ指揮者コンクール(イタリア)第2位を獲得。これまでに藤原歌劇団「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「カルメン」「椿姫」「ランメルモールのルチア」、ミラマーレオペラ「愛の妙薬」「コジ・ファン・トゥッテ」、日本オペラ協会「夕鶴」等を指揮、国内の主要オーケストラと共演した。海外での活動も多く、ウィーン国立歌劇場、リセウ大劇場、トリノ王立歌劇場、ネーデルランドオペラ、モンテカルロオペラ等、数多くの劇場で研鑽を積み、「リゴレット」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「パリアッチ」「フィガロの結婚」「ファルスタッフ」等の公演をヨーロッパ各地で指揮。イタリアのオペラ専門誌「L'OPERA」誌上で好評を得る等、評価も高い。



石井みつる〈舞台美術〉

48年東京生まれ。71年英国留学。76年 English National Opera Stage Design Course 修士科修了。76年帰国、舞台美術家として国内及び海外で演劇、オペラ、バレエ等の仕事をする。主な舞台美術の仕事「世阿弥」作：山崎正和 演出：末木利文(日本、アメリカ-シカゴ・ミルウォーキー・ミネアポリス)、「魔笛」総監督・指揮：W.サバリッシュ 演出：江守徹、「TEMPEST」作：W.シェイクスピア 演出：ゴードン・マクドーガル(イギリス、カナダ)。「曼茶羅交響曲」作曲：黛敏郎 演出：牧阿佐美(日本、ロシア・キーエフ劇場)、「Kwaidan」(怪談)原作：ラファディオ・ハーン 演出：ビン・チョン(アトランタ・Center for Puppetry Arts、ニューヨーク・La MaMa Annex、アメリカツァー、ロンドン・Barbican Centre)他多数。95年、96年読売演劇大賞優秀スタッフ賞、00年アメリカ・ウニマ協会賞受賞。OISTAT(国際舞台芸術組織)日本センター副会長、共立女子大学大学院非常勤講師。



松山郁雄〈公演監督〉／松山いくお〈グランヴィル〉

新潟県糸魚川市生まれ。昭和音楽短期大学声楽科卒業。東京声専音楽学校オペラ研究科修了。オペラ出演およびオペラ制作を活動の中心としている。93年にイタリアのトリエステに留学。滞在中は研修の傍らサンジュスト寺院の聖歌隊ソリストも勤めた。また日本の歌を中心としたコンサート活動の他、トリエステ民謡の邦訳と歌唱などで注目を集め同市のTVラジオ番組にも出演しトリエステ市民にも好評を得た。ギリシャ人の作曲家マルコ・ソフィアノープロより献呈を受け、バリトンとパイプオルガンのためのミサ曲「12のエレミアの哀歌」の世界初演はトリエステの音楽層からも高い評価を得た。オペラの主なるレパートリーには「ドン・パスクアレ」のタイトル・ロール、「コジ・ファン・トゥッテ」のドン・アルフォンソ役、「フィガロの結婚」のバルトロ、アントニオ役、「ジャンニ・スキッキ」のタイトル・ロール、「愛の妙薬」のドゥルカマール役など軽妙な役どころが多い。ミュージカル出演も積極的に「みどりの天使」マスターシェ役や「三文オペラ」ピーチャム役では歌唱と共に存在感のある役作りで好評を得ている。春秋座のオペラ公演ではこれまでに「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」の制作を手がけている。現在、昭和音楽大学及び大学院講師。NPO法人ミラマーレ・オペラ代表。藤原歌劇団団員。



川越塔子〈ヴィオレッタ〉

東京大学法学部卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部20期生修了。平成14年度文化庁新進芸術家国内研修員。平成18年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として06年から1年間ローマに留学。その後、再度渡欧しフランス、イタリアで研鑽を積む。第3回オペラティック・バトル「明日のマリア・カラス ぼくらのドミンゴを探せ!!」にて第1位。04年藤原歌劇団に「イル・カンビエッロ」のガスパリーナでデビューを飾り、09年「愛の妙薬」のアディーナに出演。12年「フィガロの結婚」のスザンナに出演し絶賛を博した。その他これまでに、日本オペラ協会「夕鶴」のつう、「天守物語」の富姫、「高野聖」の女、ミラマーレ・オペラ「ラ・ボエーム」のミミ、「秘密の結婚」のエリゼッタ等多数のオペラ公演で主役に出演し、好評を博している。また、各種コンサートへの出演も多く、10年より年に1度都内でのソロ・リサイタルも開催している。藤原歌劇団団員。



清原邦仁〈アルフレード〉

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。これまでに「リゴレット」マントヴァ公爵、「イル・トロヴァトーレ」マンリーコ、「ラ・ボエーム」ロドルフォ、「仮面舞踏会」リッカルド、「ジャンニ・スキッキ」リスツォ、「ファルスタッフ」フェントン、バルドルフォ、「コジ・ファン・トゥッテ」フェルランド、「ヘンゼルとグレーテル」魔女、など幅広い役柄を好演。06年夏にはイタリアで「蝶々夫人」ゴローを演じ好評を得た。また、11年には東宝帝国劇場ミュージカル「レ・ミゼラブル」司教等で出演。オペラ作品以外でも、モーツァルト作品をはじめとする多くの宗教曲、合唱曲のソリストを勤める。また、自主企画オペラ及びミュージカルなどの企画・演出なども手掛け好評を得る。関西歌劇団理事。上方オペラ工房メンバー。大阪音楽大学非常勤講師。平成17年度大阪舞台芸術新人賞受賞。平成25年度大阪文化祭奨励賞、吹田市文化功労者賞受賞。



片桐直樹〈ジェルモン〉

京都教育大学音楽科卒業。東京藝術大学大学院オペラ科修了。第22回藤堂音楽奨励賞受賞。関西二期会オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」でレポレロ役としてデビューし、歌唱、演技ともに高い評価を得る。その後、関西二期会を中心に「愛の妙薬」ドゥルカマール、「フィガロの結婚」伯爵、「蝶々夫人」シャープレス、「ドン・カルロ」フィリップなど、数々のオペラに出演、これまでに80に及ぶ役を演じ、いずれも好評を博す。特にその端正な音楽性と、存在感のある多彩な役作りには定評がある。オペラ以外では、ベートーヴェン「第九」をはじめ、バッハの「マタイ受難曲」、ヘンデルの「メサイア」、ヴェルディ「レクイエム」など、バロックから現代に至るまでオラトリオ、宗教曲などのソリストとして著名指揮者、オーケストラとの共演も多い。関西二期会、京都音楽家クラブ会員。相愛大学非常勤講師。



白石優子〈フロラ〉



森井美貴〈フロラ〉



井出 司〈ガストン〉



橋本恵史〈ガストン〉



楠木 稔〈ドビニー〉



土岐真弓〈アンニーナ〉



林まどか〈アンニーナ〉



総毛 創〈ジュゼッペ〉

江口二美〈ヴィオレッタ〉

大阪府出身。滋賀県立石山高等学校音楽科を経て愛知県立芸術大学卒業。同大学院修了。中村桃子賞受賞。95年渡伊。98年日本音楽コンクール、宝塚バガ音楽コンクール入選。99年ミリヤムヘリン国際音楽コンクール(フィンランド)に日本から唯一ノミネート。09年ルーマニア国際音楽コンクール第3位。オペラ「椿姫」「蝶々夫人」「カルメン」「修道女アンジェリカ」「アドリアーナ・ルクヴルール」「ミレイユ」「黒蜥蜴」タイトルロール、「ラ・ボエーム」ミミ、「こうもり」ロザリンデ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ、「魔笛」パミーナ、「天国と地獄」ユリディス、「カルメル会修道女の対話」ブランシュ、「ねじの回転」家庭教師、本邦初演作品にも多数出演。名古屋フィル、群馬交響楽団、アンサンブル金沢、仙台フィルとの共演、二期会週間コンサート、びわ湖ホールでのリサイタルの他、青島広志氏と全国で共演中。二期会会員。オフィシャルサイト <http://tsugumina-opera.com/>



松本薫平〈アルフレード〉

京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。高橋大海氏に師事。大学卒業後イタリアに渡り、E.コッソット、I.ヴィンコ、E.マルテッリ、D.マッソーラの各氏に師事。99年関西二期会35周年記念オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビューし、同年「蝶々夫人」のピンカートンと立て続けに出演し、共に絶賛を博した。その他に「カルメン」ドン・ホセ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドゥ、「ランメルモールのルチア」エドガルド、「椿姫」アルフレード、「リゴレット」マントヴァ公爵などに出演。第27回イタリア声楽コンソルツォノール特賞、第74回日本音楽コンクール入選など多数入選入賞。平成20年度咲くやこの花賞受賞。平成22年度神戸キワニス文化賞受賞。現在、神戸女学院大学准教授。京都市立芸術大学、神戸山手女子高等学校各講師。関西二期会会員。



黒田博〈ジェルモン〉

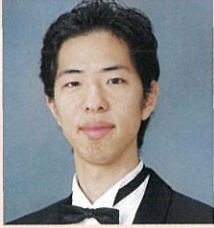
京都市立芸術大学卒業、東京藝術大学大学院オペラ科修了。イタリアで研鑽を積む。近年は新国立劇場「俊寛」タイトル・ロール、「黒船」浪人吉田、「軍人たち」マリ大尉、「修禅寺物語」夜叉王、「鹿鳴館」影山悠敏伯爵、「夜叉池」學四、二期会「ニルンベルグのマイスタージンガー」ハンス・ザックス、「カルメン」エスカリヨ、「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵、「ドン・ジョヴァンニ」タイトル・ロール、「エフゲニー・オネーギン」タイトル・ロール、「パルジファル」アムフォルタス、日生劇場「ルル」シェーン博士および切り裂きジャック、びわ湖ホール「アイダ」アモナズロ、「タンホイザー」ヴォルフラム、「椿姫」ジェルモン、「死の都」フランク、兵庫県立芸術文化センター「メリー・ウィドウ」ダニロ、「こうもり」アイゼンシュタインなどに出演。コンサートにおいてもバロックから現代作品まで幅広く活躍。国立音楽大学准教授。二期会会員。



西村明浩〈ドゥフオール〉



木村孝夫〈ドビニー〉



和田一人〈使者〉



富田敦史〈召使〉